

# 小屋裏収納庫のある暮らし

可能な限り収納スペースを確保することは家づくりの基本です。

小屋裏に設ける収納部屋は、法的に天井高さを1.4m以下としなければなりません。階下の日常生活スペースを使用することなく、収納力をパツグンに増やすことができます。

昔懐かしい思い出の物、季節物などの普段使わない物を収納するなら、小屋裏を利用することも一つの考え方です。



固定階段なので、荷物の出し入れがスムーズ。収納だけでなく、羅り部屋にも利用できます。

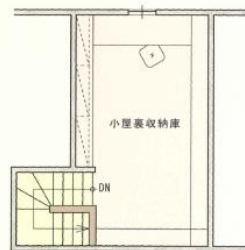
小屋裏収納庫の範囲を示します

※延床面積には算入しておりません。  
※工法等により収納形状及び床面積は変更となる場合があります

## 内蔵の魅力 (うちから)

### 暮らしの Point

なんといっても、外にある蔵(収納庫)よりも、内蔵が一番です。大きな荷物も楽々、いつでも出し入れができます。温度・湿度も住まいと一緒に、小屋裏環境を整えれば、大切な物も安心して収納できます。



平面図

### なんといっても収納力が充実!

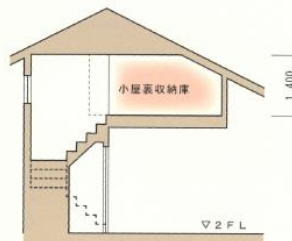
小屋裏の空間を有効利用した小屋裏収納庫は、1・2階のスペースを狭めることなく、収納力を確保します。大きな荷物も収納できるので、居室をいつもきれいに保てます。



小屋裏イメージ

### 書斎としても使用できる!

窓があると、明るくて換気ができ、子ども達やお父さんの一時的な羅り部屋に使えます!



断面図

### ハシゴ式の可動階段より固定階段が一番!

2階から小屋裏へ続く階段を「固定階段」にすると、安心して昇り降りができます。荷物の移動・片付けもスムーズに行えます。一人でも出し入れ自由です。